

平成24年度  
実施事業

事務事業名 児童生徒スポーツ振興助成金

区分	No	名称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	4	スポーツを通じて健康で活力ある生活をめざす
施策	1	生涯にわたるスポーツ活動の推進
小分類	3	競技スポーツの推進
主要な施策	1	①選手の育成
事務事業番号	002	事業開始年度 平成 14 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計

部 名	教育部	グループ名	社会教育グループ
-----	-----	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目 的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	スポーツ活動を行う児童・生徒の保護者の負担を軽減し、児童等の体育活動の向上を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	<p>児童、生徒が全国及び全道大会に参加する場合、その経費の一部を助成する。</p> <p>(1) 助成の範囲・・・大会開催要項等に定める登録範囲以内の出場者</p> <p>(2) 助成金額・・・全国大会：助成対象経費の1/5以内                  ※パック料金等の場合                  パック料金等の総額×助成金対象者/総参加者×1/5                  全道大会：1人3,000円。胆振管内の大会は助成対象外。</p> <p>【平成24年度実績】</p> <p>(1) 全国大会への助成 12回(76人)</p> <p>(2) 全道大会への助成 80回(649人)</p>
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	児童・生徒が全国・全道大会に出場し、質の高いスポーツに触れることにより技術の向上が図られており、児童・生徒のスポーツ振興に寄与していることから今後も継続する。
根 拠 法 令 等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	スポーツ基本法、登別市スポーツ振興計画、登別市児童生徒スポーツ振興助成金交付要綱

事業費（財源内訳）の推移

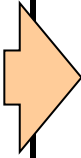
《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	2,361	3,070	3,000	3,000	3,000
事業費 合計			2,361	3,070	3,000	3,000	3,000

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果 指標	① 全国大会出場者数 (年度ベース、引率者含む)	人	目標値	20	20	20	20	20
			実績値	24	76			
	② 北海道大会出場者数 (年度ベース、引率者含む)	人	目標値	600	600	600	600	600
			実績値	678	649			

比較		《 Check 》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
<p>(1) 市内の小・中学校、高校、または少年団等に在籍し、全国及び全道大会へ出場する児童・生徒に対し、その経費の一部を助成している。</p> <p>(2) 全国大会に出場する助成金申請者にとって、申請する際の助成金算出が困難である。</p>		<p>(1) スポーツ活動を行っている児童・生徒のスポーツ活動への更なる関心を高めるとともにスポーツ振興を図るため、本年度も引き続き支援する。</p> <p>(2) 平成25年4月より要綱を改正し、助成金算出方法を簡素化する。</p>

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《 Check 》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市が主体に行うべき事業である <input type="radio"/> ② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である <input type="radio"/> ③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である <input type="radio"/> ④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	判断理由及びその他所見 スポーツ振興を図るうえで、全国大会や全道大会出場者への助成は必要である。
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市民、団体等から具体的な要望がある <input type="radio"/> ② 市民アンケートの結果から必要性が高い <input type="radio"/> ③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い <input type="radio"/> ④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	判断理由及びその他所見 児童・生徒が全国・全道大会に出場することで、質の高いスポーツに触れることにより技術の向上が図られており、登別市のスポーツ振興にも寄与することから必要である。
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 低予算、少労力で高い効果をあげている <input type="radio"/> ② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い <input type="radio"/> ③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない <input type="radio"/> ④ 将来的に効率性を向上できる	判断理由及びその他所見 スポーツの振興や保護者の経費負担の軽減を目的としていることから適正である。
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="radio"/> ① 成果指標の向上が見られる <input type="radio"/> ② 市民、団体等の声から成果を感じられる <input type="radio"/> ③ 目に見える形で成果があがっている <input type="radio"/> ④ 成果の把握は困難である	判断理由及びその他所見 児童・生徒が全国・全道大会に出場し、質の高いスポーツに触れることにより技術の向上が図られた。

①担当グループによる評価 《 Check 》

<b>維持</b>	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	学校におけるスポーツ活動は青少年の健全育成や体力向上等からも重要であり、それらの活動の成果として全国・全道大会に出場している。しかし、これらの旅費を学校や保護者が全額負担することは、経済的にも厳しいことから財政的な支援は必要である。
-----------	----------------------	--

②行政評価会議による評価 《 Check 》

<b>維持</b>	備考	
-----------	----	--